

紫峰の風

shihou no kaze

筑波大学

University of Tsukuba

第25号 2022年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降る風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められています。



第46回春季スポーツ・デー集合写真

紫峰会基金援助金目録贈呈

正式種目ドッジボールの試合風景

正式種目バレーボールの試合風景

学生委員会企画バブルサッカー

アダブテッドスポーツ「ポッチャ」

正式種目バスケットボールの試合風景

2度目の開催のe-sports

第46回春季スポーツ・デーを終えて

第46代スポーツ・デー学生委員会委員長の井上萌子です。5月14日、15日に第46回春季スポーツ・デーが開催されました。1日目は生憎の天気となってしまう、一部の屋外競技を2日目に延期し、開会式も屋内での実施となりました。しかし、1日目の午後から天気が回復し2日目は全ての競技を実施することができました。今大会も、新型コロナウイルス対策を徹底しての開催となりましたが、たくさんの方々のご協力のおかげで成功させることができました。ありがとうございました。

現在スポーツ・デー学生委員会では春季大会の反省を受けて、11月の秋季スポーツ・デーに向けての準備を開始しております。秋季スポーツ・デーはさらに盛り上げたいと思っております。

ですので、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。
(寄稿/第46代スポーツ・デー学生委員会委員長 井上萌子・比較文化学類3年)

今後の主な予定(変更になる場合があります)

春ABCモジュール期末試験	8月3日～8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月30日、8月2日～8月5日
春学期授業終了	8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日	8月10日
(東京キャンパス・夜間)	8月6日
春Cモジュール期末試験	8月10日
夏季休業	8月11日～9月30日
(東京キャンパス・夜間)	8月9日～9月30日
春学期卒業式	9月22日
春学期大学院学位記授与式	9月22日
秋学期入学式	9月30日
秋学期授業開始	10月3日
同(東京キャンパス・夜間)	10月4日
学園祭	11月5日、6日(予定)
秋Aモジュール期末試験	11月10日
秋季スポーツ・デー	11月19日、20日(予定)

—内容—

キャンパスニュース、各系合同新歓	1頁
新歓特集、学生相談室から、桐の葉日記、大学の風景	
紫峰ギャラリー	2頁
特集、芸芸連、体育会活動紹介	3頁
全代会、文サ連、医学部会紹介、学生の一週間	4頁

キャンパスニュース

第48回宿舍祭を終えて

新型コロナウイルス感染症の影響で2年間の中止を経て開催された第48回筑波大学宿舍祭(通称:やどかり祭)は、天候に恵まれ、このような情勢になってから一番の活気を大学にもたらすことのできた祭となりました。

大学開学以来約半世紀続いてきた祭を自分たちの代で途絶えさせたくないとの思いで、実行委員一同活動してまいりました。人数制限や食事の禁止等コロナ禍ならではの制約はありましたが、

祭日には学外のお客様も含めた多くの来場者の楽しむ様子を見ることができ、祭をこの手で復活させることができた嬉しさを噛み締めております。

第48回宿舍祭の成功は筑波大学紫峰会基金の援助を始め多くの方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。

(寄稿/第48回宿舍祭実行委員会委員長 玉川裕介・情報科学類3年)



本祭オープニングでの津軽三味線倶楽部無絃塾の演奏

前夜祭での火文字「天」

紫峰会基金援助金目録贈呈

前夜祭野外ライブでの筑波音楽協会のパフォーマンス

本祭オープニングでのときめき太鼓塾パフォーマンス

ゆかたコンテスト出場の「つくむすめ!」

模擬店企画の射的の様子

会場を彩る提灯

本祭ファイナーでの花火

ゆかたコンテストグランプリ受賞の「AKB(天久保)48」

2022年度新入生歓迎祭本祭を終えて

4月9日、2022年度新入生歓迎祭本祭が開催されました。
新入生歓迎祭本祭は新入生に向けて筑波大学の100以上の学生団体が屋外ブースや第一エリアの教室、特設ステージなどで新歓活動を行うイベントです。

新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間、対面形式での新入生歓迎祭本祭は中止となっていました。今年度は入場制限や体温測定などの感染対策を徹底した上で対面開催することになりました。

当日は新入生約850名、団体構成員約250名の延べ1100名以上の学生が参加し、新入生が学生団体を知るいい機会となりました。パンデミックから2年が経過し、規制されてきた活動が少しずつ再開している今日、2年間のブランクをどうするか、対面活動と感染対策をいかに両立するか、学生団体を取り巻く課題は山積みです。コロナ禍以降初の対面新歓を経験した新入生の今後の活躍に期待です。

(寄稿/2022年度新入生歓迎祭推進委員会委員長
小村心人・生物3年)



屋外ブースでのサークル紹介の様子

Invigorate The Festival!

2022/11/5 sat, 11/6 sun

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
筑波大学学園祭実行委員会でございます。さて、第48回筑波大学学園祭「雙峰祭」を、11月5日(土)～6日(日)に開催する予定でございます。
昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みましてオンラインで開催しましたが、今年度は来場者数を制限させていただいた上で対面開催を実施し、並行してオンラインによる企画も実施する運びとなりました。

「いつでも、どこでも、誰とでも」、オンラインだからこそできることを最大限に活かした企画が目白押しですので、是非皆様もご参加ください。

今年度の雙峰祭は、来場者数を制限させていただいた上での対面開催とオンライン開催を予定しています。



筑波大学学園祭実行委員会
茨城県つくば市天久保3丁目
共同研究棟 B206 学園祭実行委員会室
info@sohosai.com ☎029(853)2899

予告

第48回 雙峰祭

筑波大学学園祭 筑波大学紫峰会基金後援

三系合同新歓

文化系

4月29日、文化系サークル連合会(以下、文サ連と表記します)に所属する団体が主体となって、新入生に向けて各サークルの説明を行う文サ連オンライン合同新歓を行いました。今年度はオンラインでの開催だったため、写真の通り専用のMicrosoft teamsチャンネルを作成し、そこで参加団体、新入生、文サ連の担当者が会議を開いて一堂に会する形で行いました。イベントの前半は文サ連の担当者が司会進行役を務め、各団体の代表者がスライドや映像を駆使して、サークル活動の内容、その魅力を3分ほどコンパクトに発表していただく時間を1時間ほど設けました。後半ではまた1時間ほどの時間を取り、参加団体ごとにteamsの会議を開いて頂き、そこで参加した新入生の質問に個別にお答えするなどして、発表しきれなかった内容まで含めたサークルの情報の伝達を行いました。本イベントにおける参加団体の数は21団体に渡り、福祉や文学、SFといった様々な文化系の活動の魅力をお届けする良い機会を作れたかと思えます。

(寄稿/文サ連企画局長 井上尚混・地球学類2年)

体育系

体育会合同オンライン新歓は4月6日に新型コロナウイルスの影響で昨年度に引き続き今年度もオンライン開催で行われました。Teamsというアプリケーションを使い行いました。参加団体は43団体で、新入生は140名以上が参加してくれました。オンライン新歓の前半45分は全体の会議で参加団体の紹介を各団体1分程度で行ってもらいました。後半の1時間は各団体ごとに会議を開いてもらい、各団体で説明、質問を受け付けてもらいました。新入生は興味を持った団体の会議に参加し、説明や質問を聞く形で行いました。

この新歓で新入生が少しでも体育会の団体に興味を持ってもらえれば嬉しいです!しかし、体育会の明るさを引き出すのはやはり、対面で行う新歓だと思うので、来年度はできる限り、対面で行えるようにしたいと考えております!皆様のご協力のおかげで体育会オンライン合同新歓を行えることができました。ありがとうございました。

(寄稿/体育会企画局長 佐藤モハマド沙羅・物理学類2年)

芸術系

今年度、芸術系サークル連合会合同新歓は開催されませんでしたことをご報告いたします。



オンライン新歓時の説明の様子 2022年4月29日撮影



オンライン新歓宣伝ポスター

紫峰会基金に寄附して下さった皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の対策対処中にもかかわらず、多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。現在課外活動は、通常通りの運営はままならないながらも、出来る限りの感染対策の徹底と注意喚起を講じながら精一杯取り組んでいます。今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

課外活動団体一同

三系所属サークル新歓特集

課外活動団体による新歓活動は、コロナ禍となって以来オンラインを中心に行われてきましたが、今年度はそれに加えて対面でイベント等を実施する団体が増え、以前の活動時期の活気が少しずつ戻ってきたように感じられました。ここでは、文化系・芸術系・体育系サークルから6団体を取り上げ、今年度の新歓活動の様子について、右の3項目に分けて紹介します。

質問

- ①昨年度以前のコロナ禍ではどのような新歓を行いましたか？
- ②今年度はどのような新歓を行いましたか？
- ③新入生を迎えて、今年度どのような活動を行っていきたいですか？

文 斬桐舞



石の広場 新歓祭ステージ演舞 2022年4月9日撮影

- ①対面での練習見学とオンライン座談会やSNSでの宣伝という、形態を併用して新歓を行いました。練習見学では、簡単な振り入れを行い、SNSでは、練習見学以外でサークルを知ってもらう場が限られていたため、練習やイベントの様子など、サークルの雰囲気が伝わる長期的な情報発信を心掛けました。また、練習見学だけではなく、オリジナル曲「双碧」のお披露目会を行い、実際の演舞を観てもらえる機会も設けました。
- ②今年度は、昨年度と同様の形式で行いつつも、これまでのコロナ禍と異なり、新歓祭・集会・他団体との合同新歓など、練習見学以外で新入生と直接交流する、斬桐舞を知らなかった人に向けて演舞する機会が多くありました。そのため、一緒に踊れる総踊りや、南中ソーラン、「夢煙火」など、様々な曲を披露しました。お披露目会では、昨年準備していた新曲「紫瀑」を初披露することが出来ました。
- ③今年度は、昨年度以前のコロナ禍よりも多くの演舞機会をいただいています。新入生は先日のだんご祭で初演舞を果たし、現在新曲の練習に励んでいます。「紫瀑」は5月に完成したばかりなので、新たなメンバーで完成度を高め、より多くの人に向けて演舞を届けたいです。

(寄稿/斬桐舞スタッフ 水谷文音・比較文化学類2年)

芸 混声合唱団



大会館にて行われた新歓コンサートの様子 2022年6月10日撮影

- ①昨年度以前のコロナ禍では、対面での活動が制限されていた時にはZOOMを用いて筑波大学混声合唱団のことであったり、団員と話したり、ゲームをしたりして雰囲気を感じてもらおうというスタイルで新歓を行いました。対面練習が再開された際には、体験練習と称して実際にどのような流れで練習が進んでいくのか、また団員と歌うのはどのような感覚なのかを体験してもらいました。
- ②今年度は、昨年度まで行っていたZOOM新歓や体験練習をベースに、新歓本祭の企画でのステージ演奏や、筑波大学混声合唱団独自のコンサートを行うなど、新歓活動の幅を広げました。できるだけたくさんの方の目に留まるよう、TwitterやInstagramなどのSNSの更新はかなり頻度を高くしたり、昼休みには大学の各エリアでピラを配ったりしました。
- ③今年度の執行代が密かに目指していることとして、「コロナ禍以前の活動に可能な限り戻す」というものがあります。コロナ禍で私たち執行代も経験することができなかった合宿やイベントの開催などを、新入生を含めた全団員と試行錯誤しながら、また合唱の楽しさ、サークル活動を行う楽しさを感じながら、時勢にあったスタイルで行っていきたくと考えています。

(寄稿/混声合唱団 47期団長 小針悠斗・医学群医療科学類3年)

体 鹿島神流武道部



武道館柔道場にて稽古をしている様子 2022年5月28日撮影

- ①昨年度以前のコロナ禍では、主にオンラインを活用して新歓活動を行っていました。具体的には、毎週のオンライン新歓での活動内容の説明や、オンラインでの稽古・交流会などを行う中で、対面での活動ができる際には、対面での見学・稽古体験を受け入れてきました。
- ②今年度は、感染防止対策をした上で、対面での新歓活動を行っていました。とりわけ、新歓本祭での演武・ブースでの説明には、多くの新入生の方が見に来てくれました。また、新歓演武やピラ配り、スポーツ・デーのサークル企画への参加など、コロナ禍では実施できていなかった活動を行うことができました。見学・体験会も、新歓月間を通して受け入れることで、多くの新入生の参加で賑やかな新歓活動となりました。
- ③新歓活動を終え、今年度は9名の新入部員を迎えることができ、道場には、以前にも増して活気が溢れています。感染防止対策を引き続き行いつつ、今年度は、これまでコロナ禍で中止となっていた行事・イベントを、開催できるものは開催していきたくと思っています。部の活動を盛り上げ、歴代の先輩方が受け継いできた伝統を次の世代に伝えることができよう、努力していきたくと思っています。

(寄稿/体育会鹿島神流武道部 主務 田口侑依・比較文化学類3年)

文 マジシャンズクラブ



マジックショーの様子 2022年4月9日撮影

- ①②今年度の新歓は大きな教室を借りて対面で行いました。新歓内容はテーブルマジックショーやマジックレクチャー、ジャグリングサークルSheepさんとの合同新歓も実施しました。今年度も呼び込みができなかったため、新歓本祭の参加とSNSを中心に周知しました。一昨年度はオンラインでの新歓活動しかできず、不思議な現象を生で体験していただくのは困難でしたが、今年度は生で自分たちのパフォーマンスを見せることができました。新入生の反応もよく、マジックの魅力を十分に伝えられたと考えております。お客さんに見せたことで反省や改善点を見つけることができ自分たちのスキルアップにもつながりました。
- ③今年度は、1年生が5人、3年生が1人の計6人入っていただきました。現在のメンバーはお客さんにマジックをあまり見せたことがないので、新歓の反省をもとにどんなお客さんでも楽しんでいただけるようなマジックができるように頑張りたいと考えています。この社会情勢の中ではまだサークルでの学外活動は難しいかもしれませんが、個人個人が積極的にマジックにかかわり得たものをサークルで共有できれば成長できると考えております。

(寄稿/マジシャンズクラブ会長 松本尚也・工学システム学類3年)

芸 ときめき太鼓塾



石の広場 新歓祭ステージ企画にて「族」の演奏 2022年4月9日撮影

- ①昨年度以前は新歓祭がオンラインのみの開催ということもあり、大学主催の新歓に加えて、ときめき太鼓塾独自でもオンライン新歓を行い、体験会やミニコンサートも開催しました。
- ②私たちは「太鼓でみんなを幸せにする」をモットーに活動している和太鼓演奏団体です。今年度は、新歓本祭のステージ企画での演奏から始まり、2・3学問広場や松見池前にて昼休みに公演を行ったり、他サークルとの合同新歓に参加したりと、沢山の方に太鼓の楽しさを伝える機会を頂き、私たち自身もその演奏を通じて成長することが出来たと思います。また昨年に引き続き、4月には体験会やミニコンサートを企画し、ときめき太鼓塾でも実際に太鼓に触れたり、間近で太鼓を楽しんだりする機会を設け、多くの新1、2年生や留学生が来てくれました。
- ③2022年度の新歓では、7人が塾生として入塾してくれました！今年度は老人ホーム、幼稚園での公演など、昨年はできなかった演奏の機会を沢山増やしていきたいと考えています。また、スポーツ応援演奏や他団体の方と一緒に演奏するなど、これまでやってこなかったことに挑戦していきたくです。

(寄稿/ときめき太鼓塾代表 築嶋みどり・障害科学類2年)

医 医学ラグビー部



2022年度新歓ポスター

- ①晴れて入学した多くの新入生にとって、最初の「大学生らしい」イベントが新歓です。部活動・サークルはそんな新入生を歓迎しつつ自分たちの組織について知ってもらおうと食事会や催し物を企画し、同時に新入生同士が交流を深める場も提供していました。医学ラグビー部においては、お寿司屋さんで食べ放題企画(回転寿司ではありません…)や初心者でも参加できる練習体験など様々な企画を例年行い、毎年多くの新入生を歓迎しておりました。
- ②コロナ禍においては対面での新歓活動は中止せざるを得ず、代わりにZoomを用いた部活紹介・交流会を通じて新入生を迎えました。オンライン上の会話の独特な間や場の雰囲気の形成の難しさには苦労しましたが、だからこそ雰囲気や頼りずとも弊部の魅力をしっかりと伝えられるよう紹介内容の見直しや企画の考え直しもできました。このコロナ禍での経験は今年度以降の新歓のためにも良い機会になったと考えています。
- ③現在の感染状況を反映し、5月末から医学系の部活・サークルも段階的に活動再開になりました。新入生の皆さんが例年とは異なる時期の新歓を最大限楽しめるよう、医療系学生として感染対策に高い意識を持って新歓をしていきたいです。

(寄稿/医学ラグビー部 北島壮一郎・医学類4年)

何気ない日常の交流の回復

人間系 教授 杉江 征



新入生は、4月に入学してから、新しい生活の中で新しい学びを始めています。大学生としての生活はこれまでに経験したことがないので、戸惑いや不安はつきものと言えます。そんな時に大きな助けになるのが、同級生や先輩方との交流です。例年であれば、一緒に授業を受けたり、食事に行ったりと、日常を共にする同級生たちがいます。また、新入生歓迎のイベントやサークル活動などで先輩たちとの交流も生まれます。

しかしながら、今年の春もコロナ禍の中で学生生活が始まりました。昨年や一昨年よりは、少しずつ日常性が取り戻せてきてはいますが、それでもまだまだ制限の多い学生生活です。動画を視聴するというオンデマンド授業では、ほとんどの学生が自室で一人で授業を受けています。対面授業と違って、同じ授業を受けている他の学生たちの様子や会話を見たり聴いたりすることができません。そのため、授業の内容がよくわからなかったりすると、自分だけ理解できないのではと思って落ち込んでしまい、提出できない課題も溜まってしまって、にっちもさっちも行かなくなってしまいます。真面目な学生ほど、一人で思い詰めて、誰にも相談できずに、苦しんでしまいます。これは、コロナ禍の中で、学生相談室によく持ち込まれた相談でした。

普段なら、授業中の他の学生の様子から「みんなもわかんないんだなあ」と理解でき、他の人の質問を通して「なるほど」と授業の理解が進むこともあります。また、授業と授業の合間の友達との何気ない雑談から、思いがけず、有益な情報が得られたりもします。さらに先輩との交流では、授業だけではなく学生生活を上手くこなしていく術も教えてもらえます。こういった日常の何気ない交流が、学生生活への適応としてはとても重要だったことが、コロナ禍で失われて改めて気付かされました。

筑波大学では、ようやく、春C学期から、教室での人数制限が撤廃され、可能なところから対面授業が再開されます。これは、孤立して苦しんでいる学生の方々には福音になるのではと思います。ただ、急に交流が可能となっても、自信を失っているとなかなか積極的に他の友達に声をかけづらい人もいるかも知れません。本当に日常の何気ない交流が回復するにはもう少し時間がかかるのではと思います。

9月頃には、希望された保護者の皆さんのお手元に、春学期の成績表が届くと思います。単位の取得状況があまり良くない場合には、このような状況に置かれてしまっている可能性もあります。ご心配な点がございましたら、ぜひ、総合相談窓口や学生相談室にご相談ください。一緒に解決策を考えていきますので、気兼ねなく声をかけてください。お待ちしております。

桐の葉日記

この文章は梅雨真っ盛りに綴っているので、毎日天気不安定だったり、雨が多かったりして気分が落ち込みがちになる。加えて学群によってはほとんど対面授業がないと聞く。外に用がないと私のようなインドア人間は部屋の中だけで生活が完結してしまう。(それも悪くはない。)

もし、家とキャンパスの往復の日々を代わり映えがないと感じている方がいれば、植物を育てることを提案したい。

私は今年の春からトマトとパプリカとアボカドを育てている。育てているといっても土が乾いたときに水をあげるだけである。最近梅雨のおかげで水をあげる必要すらなく、完全に放置している。それでも植物の生命力はすごいもので、トマトとパプリカに関しては2、3日目を離すと可愛らかった双葉はどこに行ってしまったのか、力強く、大きく成長していた。アボカドは5、6枚ついていた葉っぱがほぼすべて落ちて、枯れてしまったのかと思いきや新芽が生えてきた。そんな健気で、生きること理由をつけずに日々伸びていく植物たちを見ると、強く生きようと思えてくる(かもしれない)。

ちなみに昨年はバジルの種を買ってきて植えた。発芽だけしてそれ以上大きくなってくれなかった。そういうときもある。

(文責/芸術系サークル連合会広報局員 谷口萌香・芸術専門学群2年)

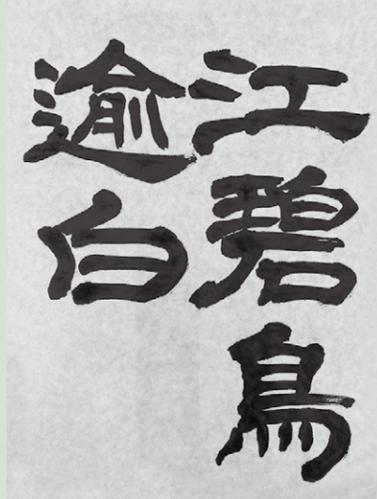
大学の風景



新緑に包まれた平砂エリア沿いの路 2022年5月25日撮影

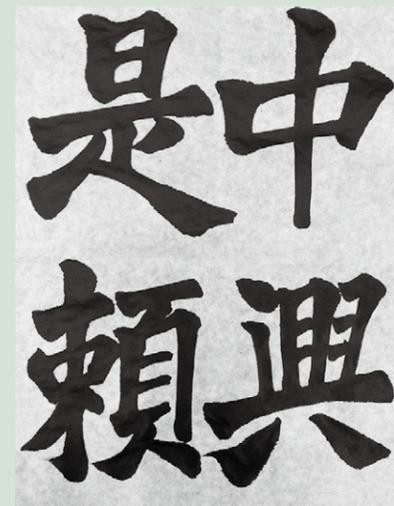
紫峰ギャラリー

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動により制作された作品の写真を掲載致します。今回は、芸術系サークル連合会より書道部の作品です。



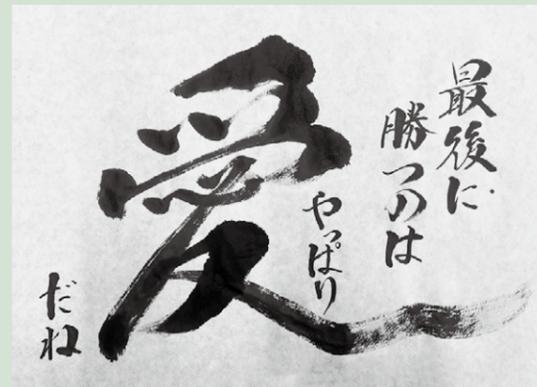
「江碧にして鳥愈いよ白し」(柞木太地・心理学類3年)

杜甫「絶句」の一節。深緑に澄みわたる長江の水と、そこに浮かぶ水鳥がいつそう白く見える様子。



「臨 張猛龍碑」(田野井ひかり・生物資源学類1年)

張猛龍という人物の徳を称えた碑の一部をを臨書しました。



「愛と正義」(佐藤陽亮・数学類3年)

愛という正義があれば絶対に誰にだって負けることはない。

第2期分授業料納付期日のお知らせ

2022年度第2期分授業料の納付期日は以下の通りとなります。口座引落の方は11月25日(金)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座の手続きを行っていない方に対しては、専用の振込用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、来年度以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)

引落日 11月28日(月) 納付期限 11月30日(水)

■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

筑波大学紫峰会基金WEBサイト
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-2030
本号について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

紫峰の風 第25号 2022年7月発行
発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
(江波戸憧音・創成2年、宮西真杏・障害2年、富田寛人・工学2年、桑澤玄・情報4年、佐藤祐人・人文3年、谷口萌香・芸専2年、石橋宗志・資源2年、青木美成・医学3年)
学生広報部会
(河原井かれん・人間総合群芸術P1年、高見沢仙美・数物群マテリアルP1年、村松真緒・社会4年、小林桃子・比文3年)
タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話:029-853-5886 E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

LINE 筑波大学通信
公式アカウント
在学生の保護者向けの情報をお届け!
友だち→友だち追加→QRコードを選択し、カメラで右のQRコードを読み込む

筑波大学学士課程紹介(後編)

体育専門学群

- *実技だけでなく、体育・スポーツに関する幅広い知識を身につけることができます。
- *将来プロ選手を目指す人からコーチ・トレーナーといった裏方を目指す人などがいるので、様々な知見を得ることができ、充実した日々を送れます。

化学類

- *化学現象を分子レベルで理解し、自然界の普遍的な法則を追求するといった基礎的な分野から、新規化合物の創製や生命現象の分子レベルでの理解といった社会に役立つ分野まで化学を広く学べます。
- *より専門的に研究を行いたい学生は大学院に進学します。卒業生の約8割が進学します。

情報科学類

- *現代社会に不可欠な情報技術について、ネットワーク技術、セキュリティ技術、分析技術など多岐にわたって幅広く学びます。
- *本質的な理論を学ぶことで、移り変わりの早い情報分野において、いつの時代であっても活用できる知識・スキルを身に付けることができます。

数学類

- *線形代数と微積分を基礎として、さまざまな分野の数学を広く学びます。
- *数学に対する理解・関心を深めるとともに、数学を通じた論理的思考を身につけることができます。

日本語・日本文化学類

- *日本語や言語自体、日本語を取り巻く状況、文学や慣習などの文化、国際交流など、幅広い分野を学べます。卒業論文では自分の興味の対象をテーマに設定して、深く追求することができます。
- *教職科目や他学類の授業などが多く卒業単位に含まれるため、広い視野を獲得しながら学びを深められます。

応用理工学類

- *新しい計測方法や新しい性質や有用な性質を持つ素材の開発をしています。
- *これらの技術を応用して新製品ができます。

社会工学類

- *「つくばの社工」では、自ら社会問題を発見し、それを数理的な視点から解決しようとする学類です。
- *必修科目が比較的少なく、自由度の高い履修を組みやすいのも特徴です。

工学システム学類

- *工学を幅広く学ぶことができ、知的・機能工学システム専攻、エネルギー・メカニクス専攻の二つの専攻があります。およそ85%の学生は大学院へ進学します。
- *2年の春学期終了後に専攻振り分けがあるので、自分のやりたいことをじっくり考えることができます。

筑波大学は専門学群2つと23の学類を有する総合大学であり、その学びの幅広さは特徴の一つです。今回は各学類が何を学んでいるのか、その特徴と社会との繋がりについて当該学類生に聞きまとめてみました。全学類等を前編と後編の2回に分けて紹介します。今回は後編を掲載します。

医学類

- *医学類では座学や実習だけではなく、シナリオが与えられ、そのシナリオに沿ってチームメンバーと討論しながら学びを深めることができる「PBLチュートリアル」が行われています。
- *また、地域医療実習や、全国の医学部でもトップクラスの長さを誇る病院実習で、学部生のうちから実際の医療現場をより深く学ぶことができます。

看護学類

- *看護師免許の受験資格は基本的資格要件として全員が資格取得可能なカリキュラムであり、その他保健師コース、養護教諭コースが選抜式であります。
- *必修科目を1つでも落としてしまうと留年が決まってしまうので、テスト勉強必須です。

医療科学類

- *臨床検査のことだけではなく、脳科学や公衆衛生学などといった様々な医学的分野についても学ぶことができます。
- *卒業後は臨床検査技師の資格を活かした職に就いたり、大学院に進学して医学研究をしたりと進路の幅がとて広い点が特徴的です。

芸術系サークル連合会活動紹介

管弦楽団



第89回定期演奏会本番の様子 2021年6月20日撮影

私たち管弦楽団は、年2回の定期演奏会を軸にアンサンブルコンサート、依頼演奏、大学・大学院の卒業式や入学式における奏楽など様々な場面で演奏を行い、それらの本番に向かって日々練習に励んでおります。今年の春には新たに25名の新入団員を迎え総勢115名の団員でコロナ禍の中でも練習や運営の両面で試行錯誤を重ね、仲間と音楽の出来る喜びを大切に充実した団活動を目指しております。

定期演奏会ではプロの指揮者やソリストをお呼びし、幅広い曲目を取り上げております。先日、5月7日にはノバホールで第92回定期演奏会を開催し多くのお客様にお越しいただきました。今後も演奏会に向けて団員一同練習に励んで参りますので、ぜひ管弦楽団の演奏会にお越しください。

(寄稿/管弦楽団団長 市川遙・応用理工学類3年)

競技ダンスサークル舞研



茨城口ポッツのホーム試合にてハーフタイムのパフォーマンス 2022年3月26日撮影

「Shall weダンス?」が一世を風靡し認知度が高かった頃から30年、一時期落ち込んでいた競技人口ですが、近年では競技ダンスのメディア露出も増え再び人気を博しています。芸術性、身体能力、ダンスへの理解の深さが求められる競技で、面白さは尽きません。それゆえに一度足を踏み入れたらその魅力にハマって抜け出せなくなる危険性があります。

そんな中、大学で興味を持ち新たな世界に一步踏み入れた学生が、全くの初心者から学生日本一を目指して切磋琢磨する、それが学生連盟の大会です。日々の努力が結果として見える機会に燃え、練習にも自ずと力が入ります。その熱が引き継がれ、当サークルは現1年生で49代、来年でなんと50周年となります。節目の年に向け、更なる活躍をお見せできるよう全力で活動していきます!

(寄稿/競技ダンスサークル舞研主将 佐野来実・社会学類3年)

筑波音楽協会



やどかり祭前夜祭の野外ライブの様子 2022年5月27日撮影

こんにちは!筑波音楽協会、縮めて「ちくおん」です。このサークルは筑波大学に5つある軽音サークルの中で、邦ロックからHR、メタルなど、最も幅広いジャンルの演奏ができることが特徴のサークルです。ほぼ毎月開催されるライブに向けて、構成員は日々練習に励んでいます。しかし去年、一昨年はコロナウイルスの影響により、思うようにライブなどのイベントを開催することができませんでした。今年は感染対策により力を入れ、コロナ禍以前の活動を取り戻せるよう努力してまいります。学年を超えて好きな音楽で繋がったちくおんの活躍に、ぜひご期待ください!

(寄稿/筑波音楽協会ドラム隊合宿係 嶋津廉・物理学類2年)

ピアノ愛好会



1月ウィンターコンサート終演後つくばアルスホールにて 2022年1月22日撮影

筑波大学ピアノ愛好会は、その名の通りピアノ好きな筑波大生が集うコミュニティです。年々徐々に会員数を伸ばし、現在約120名のメンバーが、日々練習部屋でピアノを弾いたり交流したり、毎週の集まりでおしゃべりしながら他の人の演奏を聴いたり、年に数回開催するコンサートで演奏したりと、自分に合ったペースで、和気あいあいとピアノを楽しんでいます。この夏はつくばノバホールにて近年最大規模のコンサートを開催する予定であり、皆熱心に練習に励んでいます。

ピアノは大学生活の日々の思いを託して表現することができたり、また経験者も初心者も学類学年も関係なく色々な話ができたり、自分の表現を伝え合うことができる面白い世界です。ぜひ機会があれば私たちの演奏を聴きにきてください!

(寄稿/ピアノ愛好会運営委員 佐藤祐人・人文学類3年)

体育会活動紹介

男子ラクロス部



リーグ戦勝利後の円陣の様子 2021年11月13日撮影

男子ラクロス部では週に5回、主にセキショウフィールドにて活動を行っています。シーズンテーマを「No fun no gain」、チーム目標を「一部昇格」、スローガンを「礎」と掲げ、ラクロスや部活を楽しむことを大切にしながら、勝利を目指して日々熱く練習や試合に取り組んでいます!ラクロスはカレッジスポーツのため、大学から始める人が殆どでスタートラインはみんな一緒です!実際に今年は大学1年生から始めて日本代表になった選手もいます。様々な学類から異なるバックグラウンドを持つ人たちが集まり、大学生活を共に熱中して過ごすことができるのがラクロス部の大きな魅力の一つでもあります。

昨シーズンは一部昇格一歩手前まで進みましたが、惜しくも昇格戦にて敗れてしまいました。今シーズンこそは昨シーズンの悔しさを胸に一部昇格を成し遂げます!是非応援宜しくお願い致します。

(寄稿/男子ラクロス部 尾花歩優・教育学類4年)

男子ソフトボール部



春季リーグ戦(vs千葉大学)で一点差で迎えた最終回の筑波大学の攻撃 2022年5月3日撮影

男子ソフトボール部は現在、13名の部員と、2名のマネージャーを中心に、引退した4年生等の力を借りながら活動しています。目標は1部リーグへの昇格。そのために毎日計画的に練習メニューを組み、目標の達成に向けて全員で頑張っています。

男子ソフトボール部最大の特徴は、部員の半数以上が初心者から始めた人たちであることです。投げ方、打ち方、ルールすらわからず始めた人も、たった数ヶ月で目覚ましい成長を遂げています。それは、自分達で課題意識を持ち、それを毎日の練習に反映させ、目的を明確にした練習を行っているからだと思っています。これからも、次の秋季リーグに向けて、日々精進していきます!

(寄稿/男子ソフトボール部副代表 田澤佑真・人文学類2年)

男子バレーボール



全日本インカレ3位決定戦 2021年12月5日撮影

筑波大学男子バレーボール部は2022シーズンのスローガンを「統」とし、全日本インカレ優勝を目指し日々の活動に取り組んでいます。チームの特徴としては、一人一人が高い役割意識を持ち、選手としてプレーするだけでなく、マネジメントの業務を行ったり、データ分析を行ったりとマルチタスクである点があります。

活動の目的には人材育成が掲げられており、勝つだけのチームではなくそのプロセスにおいても自分たちで試行錯誤を繰り返し、最良の結果が出るよう心がけています。今シーズンはプレー以外の面でも仲間を思う気持ち、責任を強く持って業務を行うこと、そういった部分を強く意識しています。

(寄稿/男子バレーボール部主務 西川馨太郎・体育専門学群4年)

体操部



やどかり祭でのステージ発表の様子 2022年5月27日撮影

筑波大学体操部は徒手体操や組立て体操などの身体一つで動く体操、Gボールという大きなボールや、ラートという二つの鉄の輪が繋がってできた器具を用いた体操、フープや体操ボール、縄などの手具を用いた体操、さらには自分たちで生活の中で使っている様々なものの中から新たな手具を探したり動きを作りだしたりしていく発想力を重視した体操を行っています。

また、学内外において様々な発表会やパフォーマンスに参加し、作品の発表を通して私たちならではの体操を発信しています。他人と技を競い合うのではなく「自分と仲間の体と向き合い、人間らしく心地よく動く」ということを大切に活動をしており、このような体操は一般体操(Gym For All)と呼ばれる生涯スポーツとなっています。

来年の夏には、世界中から一般体操の愛好家たちが集まりパフォーマンスを行う世界体操祭がオランダで開催されます。このイベントに向けての作品づくりもスタートしています。

(寄稿/体操部主務 黒澤瑠季・体育専門学群2年)

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

議長挨拶

この度令和4年度全代会議長に就任致しました、人文学類2年次の河野美羽と申します。この場を借りて着任のご報告をさせていただきます。

さて、皆様。全代会とはどのような組織であるかご存じでしょうか。或いは全代会と聞いて自身との関りはどのようにあるか思い浮かべることが出来ますでしょうか。此方は毎年課題となっておりますが、全代会の認知度というものは案外低いもので学生の声を拾いきれていない部分も少なくありません。

全代会の活動目的は「学生の利益、権利を守る」です。勿論全ての声を拾い上げ、全ての要望を叶えることは不可能でしょう。しかしながら、抽象的な表現にはなりますがそうした活動を行っていく事にこそ意義があると考えております。

コロナ禍であるという現状は変わらない中ですが、状況が停滞している今こそ叩くことのできる問題があります。全代会として、今年度もより多くの学生の意見を吸い上げ、それを吟味し学生や先生方、全代会に関わって下さる方々と共に要望に真

摯に添えていく所存です。幸いなことに筑波大学は話し合いの場は潤沢にありますので、そのような制度の下で活動を行って参りたいと思います。

加えて、そうした学生との繋がりを強固にするためには組織も強固でなければなりません。故に動線の確保や、他の学生組織との連携の強さも求められてくるわけです。全代会組織だけでなくその他の組織を含め、アウトバンのような皆様が活発に走る事の出来る体制を整える、或いは整えるための基盤の作成を行っていきたくて考えております。

全代会はこうした目標と共に今後も精一杯活動して参りますので、そうした活動を応援して頂くと共に、何かお気づきの点がございましたらお声がけ頂ければ幸いです。今後とも全代会という組織をどうぞよろしくお願い致します。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長
河野美羽・人文学類2年)

学内行事委員会

こんにちは！！学内行事委員会です。学内行事委員会は、簡単に言うと、「全代会と他の学生組織を結び付ける窓口」のような役割を担っています。学園祭実行委員会やスポーツ・デー学生委員会、各サークル連合会など、様々な学生組織と連携を取って活動しています。それでは、学内行事委員会が行っている業務について、もう少し詳しく説明します。

まず、各種文書の校正です。具体的な書類としては、学園祭実行委員会から提出される学園祭実行計画書や予算書、学類のクラス代表者会議から提出される新歓援助金申請書類などです。学内行事委員会では、文書の校正を“朱入れ”と呼びます。赤入れでは、例えば字下げ忘れや誤字脱字の指摘など体裁的な面だけでなく、コロナ対応についての説明など内容的な面についても指摘をします。長い書類だと朱入れはとても大変ですが、大学の先生方に提出した後の円滑な審議のためにも、とても重要な業務になります。

次に、他の団体の各種会議への参加や報告です。具体的には、学生財務会議、サークルの代表者からなる会議（通称、三系会議）、スポーツ・デー運営委員会に学内行事委員会の担当者が参加します。メール等でのやり取りだけでは、他の学生組織の動向を把握したり積極的な連携をしたりすることは期待できません。実際に会議に参加して、リアルタイムでやり取りをして、関係を深めています。

他にも学生組織間で意見交換をする学生組織連絡会の開催や、担当する議題にかかわる全代会の本会議の準備など、色々な業務を行っています。学内の行事や学生団体にかかわることについてご意見等あれば、ぜひ学内行事委員会までお気軽にご連絡ください！

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議学内行事
委員長 沼田幸弥・物理学類2年)

調査委員会

調査委員会は全代会を構成する6つの常任委員会の1つです。我々は主に教育環境委員会、生活環境委員会および議長団より依頼を受け、学生から届いた声を詳細なアンケート・実地調査などによって裏付け・補強をし、学生を取り巻く環境をよりよくするための要望を大学側に提出するために必要な情報を提供しています。

昨年度は授業形態の満足度や改善要望に関するアンケートや学生宿舍の暖房の稼働時間に関するアンケート、履修登録システムのダウンに関連してシラバスの公開要望に関するアンケートなどを実施しました。

今年度も多くの学生から対面授業の実施に関する要望や教室の座席や空調に関する要望、道路改修に関する要望など、様々

な意見が届いております。

今年度の活動方針としましては、昨年度と同様に教育環境委員会・生活環境委員会との連携を深めることに加え、他の委員会とも連携を深めていくこと。調査委員会独自で教育生活環境調査を基に、各種要望に関する参考資料の作成も進めていきたいと考えております。

いまだコロナによる制限が多く、理想となる大学生活とは少し異なる生活を送っていると思いますが、少しでも学生生活がより良いものになるように全力を尽くしてまいります。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議調査委員長
林凜太郎・社会学類2年)

文化系サークル連合会活動紹介

園芸クラブ



ひょうたんの棚 2022年5月21日撮影

園芸クラブは筑波大学で植物を栽培しています。活動場所は一の矢学生宿舍前の畑、平砂学生宿舍の花壇、医学花壇の3か所です。今年は新入部員が入り、2022年5月24日現在で部員は10人です。初心者大歓迎です。入部希望者は「かぼちゅん」にDMを送ってください。筑波大学のもう一つの園芸サークルであるのうりんむらや、学園祭実行委員などとの兼部もできます。

直近(2022年5月21日)の活動は一の矢学生宿舍前の畑で行いました。畑にキクイモを植え、綿、ひょうたん、ネギ、ブルーコーン、うずら豆の種をまきました。さらに、畑の北西にはびこっていた雑草を刈り畑をすっきりさせました。画像はひょうたんの棚です。

(寄稿/園芸クラブ会長 氷見和裕・生物学類3年)

ストーリーテリング研究会



お話会の様子 2022年5月29日撮影

私たちストーリーテリング研究会は絵本の読み聞かせなどを行っている団体で、現在新入生を含め10人前後で活動をしています。普段は毎週金曜日の6時半にミーティングを行い、読み聞かせの練習などを行っています。月に一度、図書館や保育園での読み聞かせをしており、図書館での読み聞かせは、つくば市立中央図書館で第5土曜、もしくは第4日曜日に行っています。未就学、あるいは小学校低学年くらいのお子さん10人くらいを対象とすることが多いです。保育園での読み聞かせは現在は行えておりません。今年度からは、新しく、イオンモールつくばの未来屋書店さんでの読み聞かせもさせていただいています。子供たちにえほんの楽しさを知ってもらえるよう、いろいろな工夫をしながら活動をしています。よろしくお願ひいたします。

(寄稿/ストーリーテリング研究会会計 近藤真樹・医学類2年)

海洋研究会



ちょっと底まで 2021年7月16日撮影

海洋研究会は、酸素ボンベを背負わず、自分の呼吸のみで海をダイブし、海洋景物や海中地形を楽しむサークルです。生物オタクや釣り人、海が好きな人など個性豊かで様々なメンバーが大自然を堪能しています。昨今のコロナ禍と大学からの自粛要請によって活動は制限されていますが、昨年は一度合宿に行き海を楽しむことができました。今年はウィズコロナの体制が高まってきており通常の合宿を実施できることを期待し準備を進めております。新しく22名の新入会員も迎え、今年はより一層海を満喫する夏にしたいと考えております。また、学園祭では水族館展示も行う予定ですので是非、足をお運びください。今年の夏はどのような景色、どのような生き物に出会うことができるのか、今から楽しみでなりません。

(寄稿/海洋研究会会長 長舟優・生物資源学類3年)

手話サークル

筑波大学手話サークルは現在75名で活動しています。最もメインとなる活動は週に2回行われる例会です。毎週月曜と木曜の18:30~20:30に開催しています。例会は①スピーチ、②勉強、③企画の3つから構成されています。スピーチでは、毎回1人が手話でスピーチを発表します。話す内容も長さも全て自由です！長期休みの思い出や趣味に関すること、サークルに入ったきっかけなど、メンバーの個性豊かな話を聞くことができます。勉強では、毎回テーマを決めて手話の表現や語彙を勉強します。基礎から一つずつ教えるので、手話の知識が全くなくても大丈夫です。

企画では、手話を使ったゲームをします。ボードゲームやフルーツバスケット、YouTube企画のオマージュなど、毎回趣向を凝らしたゲームが企画されます。普段から手話を使う人も、手話を勉強中の人も、みんなで一緒に楽しむことができます。

手話サークルの活動における特徴の一つが、オンラインと対面の二つの形式を併用している点です。Zoomによるオンライン例会は、宅通の人やまだ対面に不安がある人も参加できるのでこれからも継続したいと考えています。

例会の他にも、手話でおしゃべりをする会や、年に3回行われる手話コーラス発表会など、様々な活動を行なっています。コロナによる影響で合宿や旅行は実施できていませんが、オンラインや規模を縮小するなどしてできることをやっていきたいと考えています。

(寄稿/手話サークル副会長 小松史乃・知能情報・図書館学類2年)

医学部会紹介

医学サッカー部



2019年度医歯薬獣医春季リーグ(関東一部)優勝時集合写真 2019年5月26日撮影

我々医学サッカー部は27名のプレイヤーと9名のマネージャーで構成され、平日は火曜日と木曜日に、週末は土曜日の週3回の練習を主な活動内容としています。主な大会として、医歯薬獣医春季サッカーリーグ大会、東日本医科学生サッカーリーグ大会(通称東医体)、東日本国公立医科学生サッカー大会の3つがあり、これらの大会で優勝することを目標に毎回の練習に取り組んでいます。特に東医体優勝にむけてはより一層力を入れており、7月に1カ月夏練を行い、ほぼ毎日練習に励んでいます。厳しい練習以外にも、夏の海企画やバーベキュー、球技大会、スキーなどのイベントも数多くあり、プレイヤーもマネージャーも全員が楽しむことができる部活となっています。また今年度は2大会ぶりに東医体が開催されることになりそうです。

コロナで活動自粛となっていた活動も5月末から段階的に再開する運びとなりました。東医体までに残された時間を大事にし、日々の練習に取り組んでいきたいと思ひます。

(寄稿/医学サッカー部主将 土居丈太郎・医学類4年)

医学弓道部

筑波大学医学弓道部は、体育会医学支部に所属する創部13年目の比較的新しい部活です。現在部員は約25名。医学類や看護学類に加えて他学類の学生も参加し、毎週火曜日と金曜日の18時から21時まで、春日地区にある「春日弓道場」にて和気あいあいと練習に励んでいます。部員は初心者から有段者まで経験も様々ですが、部員同士で指導しあいながら弓を引いています。今では外部コーチの先生にもご指導に来ていただき、非常に密度の濃い稽古ができています。稽古ができて、「弓を引いて矢を放つ」という動作の中に様々な射法が入っており、それらが一つでも狂つと「良い射」にならないのが弓道の醍醐味です。一つとして同じ射はなく、またその時々精神状態などにも大きく左右されるのも特徴です。だからこそ稽古は楽しさの中に緊張感がありますが、的にあたったときの達成感は何とも言えない嬉しさがあります。なんと歴代の先輩には悲願の東医体優勝を成し遂げた猛者もいるから驚きです。

医学弓道部では、通常の練習以外にも合宿や遠征、対外試合も積極的に行っています。さらにバーベキューや花火大会、スキー合宿やディズニーランドなど、大学生ならではの企画も盛りだくさん!部員同士の親睦を深めています。

コロナ禍において練習も大幅に制限され、対外試合や合宿、企画などもすべて中止を余儀なくされていますが、何とかこの伝統を引き継ぎ、医学弓道部として再起を図っていきたく思います。引き続き皆様のご支援のほどよろしくお願ひいたします。

(寄稿/医学弓道部副主将 穂戸田勇一・医学類4年)

企画記事「体育会・医学部会それぞれに固有の団体」

筑波大学の体育系サークル組織「体育会」の内部には、医学系学生中心のサークル組織「医学部会」が存在します。それぞれの所属団体を見てみると、双方に共通する競技もあれば、片方にしかない競技もあります。そこで今回は、体育会にしかないトライアスロン部、医学部会にしかないヨット部を取り上げ、活動の内容について異なる観点からご紹介いたします。

トライアスロン部

①試合または学外で交流しているときの気持ち

まず、トライアスロンといえば?泳いで漕いで走って、ですね。各々のパートで各々が各々の気持ちを抱くそうなのですが、泳ぐときは魚類のように優雅に水をかき、漕ぐときは鳥類のように流れを支配し、走るときは爬虫類のように地を這ってでもゴールを目指す。これが私の理想です。また、大会のエントリー費が高いのでこのときのために練習を積み、アルバイトに励み、アスリートたらしめているのだと思うと、限界すれすれだろうが、最高です。

②面白いエピソード

きつとぎつと、スイマーって言おうとしたら水泳部に沈められるし、ローディーって言おうとしたら自転車部に轢かれるし、ランナーって言おうとしたら陸上部にわらわれる。じゃあ、私は誰だ。ここはどこだ。私は何のために(以下略)。ハッと気づく。そうか、我々は専用技を持った、進化可能なイービーなのではないだろうか。面白い話、(ありすぎて)ばって思いつかなかったのが最近の私の頭の中を書き出してみました。

(寄稿/トライアスロン部 小林颯人・物理学類2年)



日本学生スプリングトライアスロン選手権時の集合写真 2022年5月22日撮影

医学ヨット部

①活動におけるやりがい

ヨット競技における一番の魅力は、「自然と一体になれる」ことだと考えます。ヨットを出艇させるまでの準備や着艇させてからの片づけには時間がかかり、また競技の特性上、天候や風速に大きく影響を受けるため、思い通りに帆走できないことも多くあります。しかし一度風を捉えたと、身体に風を直に受け、爽快感に包まれます。

②一番自慢できること

中高までにヨット経験のある人が少なく、多くの人が初心者として入部するため、大学から新たにスポーツを始めたい方にとってハードルが高くなりすぎません。初心者同士が切磋琢磨することで、全員が主役としてレースに臨むことができる点はヨット部の自慢です。

③コロナ禍での活動の工夫

先月より医学群からの活動制限が一部緩和され、医学ヨット部としての活動が再開されつつありますが、新型コロナウイルス感染症は依然として収束の見通せない状況となっております。活動は主に水上で行うため、キープディスタンスや換気は十分に行われていますが、陸の上においても密を避け、部屋の換気を定期的に行うなど感染対策を徹底しています。

(寄稿/医学ヨット部主務 小橋剛真・医学類2年)



出艇の準備をする様 2022年6月5日撮影

学生の一週間

ここでは、サークル活動をしている学生としていない学生の一週間を紹介します。

3年 Mさん 春Aモジュール(4~5月)

工学システム学類に所属するMさんは火、木、土にサークル活動に参加しています。主に課題は午前中に行っており、午後の授業を受けた後は趣味のランニングをしたり自由時間をとったりしています。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
8	家事	家事	家事	課題	オンデマンド授業	家事	課題
9			課題				
10	課題、自習	課題	課題	課題	オンデマンド授業	家事	課題
11	昼食	昼食	昼食	昼食	自習	自由時間	昼食
12	オンライン授業	対面実験	対面授業	オンライン授業	昼食	昼食	課題、自習
13				対面授業	オンデマンド授業	集中講義	
14	自習	対面実験	自由時間	家事	家事	家事	サイクリング、風呂
15	家事			自由時間			
16	ランニング	ランニング	自由時間	ランニング	ランニング	自由時間	家事
17	風呂、夕食			風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食	
18	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間
19							
20	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間
21	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間	風呂、夕食	自由時間
22	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
23	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
24	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠

3年 Kさん 春Aモジュール(4~5月)

情報科学類に所属するKさんはサークル活動等には参加していません。平日のスケジュールは固定されていて、オンデマンドの授業でも時間通りに受けるよう心がけているそうです。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食		
8	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	睡眠	睡眠
9							
10	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	睡眠	睡眠
11	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業		
12	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業		
14	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	課題	課題
15	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業	オンデマンド授業		
16	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
17	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
18	風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食	風呂、夕食
19	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
20	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
21	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
22	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間		
23	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
24	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠		